

復興ニュースでは… 広報あさくらの発行にあわせて、復旧・復興に向けた市の取り組み状況とその進捗状況などを随時お知らせしていきます。

住宅再建プロジェクトチームから

灾害公営住宅、安全な居住地の整備

災害公営住宅等の建設は、「被災前のコミュニティの維持にも配慮しながら整備に取り組む」と定めた復興計画にもとづき、2年間の仮設住宅の入居期限までの完成を目指しています。

これまで、災害公営住宅への入居を希望する皆さんを対象に第1次・第2次意向調査を実施しました。意向により、市は、旧石の橋跡地に30戸、旧杷木小学校跡地に50戸、松末地区では復興の進捗にあわせて検討を進めることになりました。なお、最終の第3次意向調査を、建設着手前の7月ごろに行う予定です。

また、今後、安全な居住地の確保を目指し、久喜宮地区では、自力再建者向けの住宅地として旧久喜宮小学校の跡地利用を検討しており、志波地区では、地区全体での適地を選定しています。松末地区では、復興の進捗にあわせて、適地を検討していきます。

問 市都市計画課（☎ 28-7582）

※写真はイメージです



福岡県福祉総務課から

住宅再建融資に係る利子助成の受付を開始

平成29年7月九州北部豪雨による被災者の早期の生活再建を図るため、住宅再建経費を助成します。

■対象…次の①および②の要件を満たし、住宅再建後の住宅に入居している世帯（申請は1回限りです）
①全壊・大規模半壊世帯、半壊でその住宅を解体した世帯または被災者生活再建支援法の長期避難世帯として認定されている世帯
②新たに融資を受けて、県内に住宅を建設・購入・改修した世帯

■支援額…住宅再建融資に係る利子相当額〔上限100万円（一括助成）〕

※支援額は、借入方法などにより異なります。福岡県ホームページに支援額試算用のエクセルシートを準備していますので、事前に確認することができます。

■申請窓口…市都市計画課

※申請期限は、住宅を再建し、その住宅に入居した日から起算して6ヶ月以内（ただし、平成30年5月31日までに住宅を再建し、その住宅に入居している場合は、平成30年11月30日まで）

■申請様式および添付書類…市都市計画課へ問い合わせ、または福岡県ホームページを確認してください。

※県ホームページ内で「福岡県被災者住宅再建支援事業」で検索してください。

問 市都市計画課（☎ 28-7582）または福岡県福祉総務課（☎ 092-643-3246）

7/29

自力再建を考えている人向けに、住宅再建に向けた個別相談会を実施します

上記の福岡県被災者住宅再建支援事業補助金など、住宅再建に係る各種再建支援制度や、資金返済計画について個別相談会を実施します。参加を希望される場合は、事前に連絡をお願いします。気軽にご相談ください。

■日時・場所…7月29日（日）10時～16時、ピーポート甘木2階 第1学習室

※当日は、事前の連絡がない場合でも対応します。8月以降も個別相談会を予定。改めてお知らせします。

問 市都市計画課（☎ 28-7582）

平野部の農地復旧状況

平野部では、河川の氾濫によって大量の土砂が農地へ流入しています。

現在、大規模に土砂が流入した農地を11工区に分け、営農再開を目指して土砂を撤去しており、被害面積212haのうち6月1日現在で約69ha（約33ha）が完了しています。

なお、工区や農地によって施工条件や状況が異なるため、完了引き渡し時期はそれぞれ異なりますので、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

問 市農林課（☎ 52-1115）

☑ 地区別復興まちづくり協議会を開催しました

市民に寄り添い、市民と一緒に復興まちづくりに取り組むため、市民との継続的な協議の場となる「地区別復興まちづくり協議会」を開催しました。

協議会では、「河川などの事業計画が示されなければ、まちづくりについて考えられない」という今後のまちづくりに関する意見や「出水期対策はどうなっているのか」など出水期の不安に関する意見が出ました。事業計画は、順次各機関から地元に説明が行われていくほか、出水期対策もハード・ソフトの両面で対策を行っています。

今後も継続的な協議を重ね、市民の皆さんとともに進める復興まちづくり、一軒一軒の住宅再建を見つめる議論を進めています。

問 市総合政策課（☎ 28-7593）



▲ 6月4日、久喜宮地区での協議会で説明する林市長



赤谷川流域の応急復旧工事などが概ね完了しました

赤谷川、大山川、乙石川の河川内やその周辺の流木撤去が概ね完了し、被災前と同等の流路を確保しました。また、砂防事業による土砂止め工（遊砂地）や強靭ワイヤーネットなど土砂や流木を抑制するための応急対策も概ね完了しました。

応急復旧工事は概ね完了しましたが、今後も気象情報や避難情報に注意し、危険を感じた場合は、速やかに避難行動をとってください。

問 筑後川河川事務所九州北部豪雨復興出張所（☎ 63-3100）



▲ 流木の撤去が完了（石詰）

工事車両に掲示された 標識 を見ることで どの機関のどの工事を行っている車両かがわかるようになっています

追加



復旧工事の本格化に伴い、市内各所でダンプカーなどの工事車両の通行が増加しています。

広報あさくら復興ニュースNo.5（5月1日号）でお知らせしたとおり、工事車両に色別の統一標識を掲示することで、発注機関や工事内容がわかるようになりました。下表のとおり追加がありますので、お知らせします。

標識の未掲載や標識を裏返している工事車両、通学路において登下校の時間帯に速度超過している工事車両を見かけた際などは市に連絡してください。

問 市公共土木施設災害対策室（☎ 62-2707）

プレート色	発注機関	工事内容など
水色	朝倉市（都市計画課）	仮置き土砂搬出
グレー	朝倉市（農業振興課）	三連水車の里あさくら災害復旧



朝倉県土整備事務所から

・危機管理型水位計を設置しました

福岡県では、出水期を前に、監視体制や住民への情報提供を強化し、早急な水防活動や住民の適切な避難判断を支援することを目的として、「危機管理型水位計※」を市内2カ所〔赤谷川（久保垣橋）、桂川（比良松橋）〕に設置しました。

危機管理型水位計の水位情報をはじめ、雨量や監視カメラの情報を避難判断に有効な情報として、市や住民の皆様に県ホームページで公開しています。

※危機管理型水位計…洪水時にのみ河川の水位を観測する低成本の水位計

■ URL: <http://www.kasen.pref.fukuoka.lg.jp/bousai/index.html>

問 朝倉県土整備事務所 (☎ 41-2604)



「福岡県防災ハンドブック」の活用を！

福岡県では、近年頻発する大災害を踏まえ、「福岡県防災ハンドブック」を作成しました。災害に関する基本的な知識に加え、災害時の留意点や水・食料の備蓄方法など「自助」「互助」に役立つさまざまなノウハウを掲載しています。

県ホームページで見ることができますので、家庭や地域における防災力の強化に役立ててください。

■ URL…<http://www.bousai.pref.fukuoka.jp/bousaihandbook/>

問 福岡県防災企画課 (☎ 092-643-3112)



あさくらさいがい FM (88.7MHz) は杷木地域放送と連動しています

豪雨災害以後、市が臨時で開局している災害FMラジオ「あさくらさいがいFM」は、現在、杷木地域放送と連動させています。家庭用のFMラジオで聞くことができますので、外出時にも活用ください。梅雨明けまでをめどに運用します。

問 市人事秘書課 (☎ 22-1117)



筑後川・佐田川の洪水浸水想定区域の活用を！

筑後川河川事務所では、近年の水災害の激甚化や水防法の改正により、想定し得る最大規模の降雨を前提とした浸水想定区域図（筑後川・佐田川）をホームページで公開しています。家庭や地域における防災力の強化に役立ててください。

■ URL…<http://www.qsr.mlit.go.jp/chikugo/bousai/shinsuisoutei/index.html>

問 筑後川河川事務所（☎ 0942-33-9131）

「防災メール・まもるくん」の登録を！ 情報が文字として届くため、何回でも確認できます！

大雨に備えるために、「防災メール・まもるくん」を登録しましょう。

【「防災メール・まもるくん」の登録方法】

- ① mamoru@bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp に空メール（件名も内容も入力せずに送信するメール）を送信する。

②返信メールが届くので、その内容に従って登録を行う。

問 市防災交通課 (☎ 28-7554)



▲登録用のQRコード